



## 米を作っていない田んぼがあるのはなぜ

### 米の生産調整をしているから

日本は、米作り技術が発達した国で、1年間におよそ1000万トンの米を生産しています。米は、日本人の主食ですが、最近では、日本人の食生活が変化し、米以外のパンなどを食べる人が増え、米の消費量が減っています。これを消費者の米ばなれといいます。

米を食べる量が減っているのに、生産する量が減らないと、米は大量に余ってしまいます。1970年には720万トン、1980年には666万トンもの大量在庫をかかえたことがありました。このようなむだな米の在庫のために、政府は非常に多額のお金を払わなければいけません。そのため、国の財政が赤字になる原因にもなっていました。

このような問題を解決するために、1971年から米の生産調整が始められ、稲の作付面積は急速に減らされていきました。この生産調整は、市町村単位、集落単位にわりあてられます。米を作らずに田んぼを休ませた農家には、生産調整金という手当てが支払われています。

米が作れるのに、米を作っていない田んぼがあるのは、そのためなのです。

### 世界の米の生産量

1996年の世界の米の生産量は、5億6226万トンでした。世界第1位の米の生産国は中国で、1億9010万トンでした。次いで、インド(1億2001万トン)、インドネシア(5117万トン)、バングラデシュ(2801万トン)、ベトナム(2630万トン)、タイ(2180万トン)、ミャンマー(2087万トン)、日本(1300万トン)の順でした。(監修・保岡 孝之)

